

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26 年 12 月 8 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471700322		
法人名	社会福祉法人敬羨会		
事業所名	グループホーム さつき		
所在地	広島県府中市木野山町箱田奥前1537-1 (電話) 0847-68-2432		
自己評価作成日	平成26年4月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成26年10月8日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>入居者様・ご家族の希望に添いながらホームを我が家のように思ってもらえるような環境作りに力を入れ最期まで穏やかなその人らしい暮らしが出来るようにお手伝いさせて頂き、看取り介護も安心して任せて頂けるグループホームをめざし日々頑張っています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホームさつき（以下、ホーム）は、府中市郊外の県道沿いに位置し、大きな山々に囲まれ、すぐ近くには畑が広がり自然豊かな環境です。職員は「常に笑顔で接します」の理念を常に意識しながら、家庭的な雰囲気のもと、1日を笑顔で始め、笑顔で終わることを大切にしながら入居者の生活を支援されています。</p> <p>また、モニタリングは医師、看護師など、専門職の意見や家族の思いや本人の意向に添いながら、その人らしい暮らしを実現するための計画を作成されています。月1回のモニタリングは家族にも報告を行い、その積み重ねが家族への安心、信頼に繋がっています。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(1ユニット)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	社会福祉法人敬養会の理念に添ってグループホームさつき独自の理念を作っています。朝礼時に職員一同復唱しています。	ホーム独自の理念である、「私たちは、お一人お一人が主役であることを認識し、サービス提供いたします」「私たちは、その人らしい生活の実現に向けて取り組みます」「私たちは、常に笑顔で接します」「私たちは、利用者の皆様が、健やかに過ごして頂く為の健康管理に努めます」を常に職員は意識しながら理念に沿った支援をめざしておられます。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	併設施設の行事に参加して地域の方との交流に努めています。	ホームから近隣住宅まで距離があるため、地域住民との交流の機会は限られています。法人が実施する敬老会、箱田祭り、餅つき、とんど等に参加し、家族や馴染みの人、地域住民と交流されています。また、保育所園児との交流があり、入居者にとって待ち遠しい行事のひとつとなっています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	居宅介護支援事業所と地域の高齢者などの暮らしに役立つような事がないか話し合いを持つようにしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議を通じて利用者の状況、行事などを報告しています。また自己評価・外部評価の資料を回覧できるように玄関先に配置しています。又外部評価・自己評価を運営推進委員の方々に配布しています。	3か月ごとに実施する会議には、地域包括支援センター職員、民生委員・児童委員2人、町内会長などの参加を得て、ホームの現状や取り組みについて報告が行われています。次回は、警察署員が新たに加わる予定です。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議時しか府中市の担当者の方との交流がない状態である。	運営推進会議に地域包括支援センター職員の出席があり、ホームの状況や実績について把握し、意見交換をされています。会議を通して、担当者顔見知りになり、気軽に相談できる関係が築かれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>勉強を通じて学ぶようにしています。施設外での研修に出来る限り参加している。</p>	<p>職員研修で身体拘束をしないケアについて周知されています。「ちょっとまって」「～したら駄目」「さっきトイレに行ったでしょ」等、制止の言葉を必要以上に使わないように心がけるなど、自由な暮らしを提供できるよう取り組まれています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>高齢者虐待防止法関連法について勉強会を通じて学べるようにしています。施設外での研修に出来る限り参加している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>個々の必要性を関係者と話し合い、必要な方へは活用して頂けるようにしています。また、勉強会を実施していき、職員一同が学べるようにしています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約者を説明して、ご家族様に納得して頂けるように十分に説明を行い、理解・納得して頂けるように努めています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご意見・苦情箱を玄関先に設置しています。</p>	<p>面会時と毎月のモニタリングの同意を得る際に、家族の悩みや相談、要望を聞かれています。また、毎月請求書を送る際は、担当職員が入居者の日々の暮らしぶりや健康状態などを書き添えて届けておられます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎日、ミーティングを実施して職員の意見や提案を聞く機会を設けています。	毎日のミーティングでは、職員から活発な意見や気づき、提案、アイデアが出されます。職員からは、ペースト食の入居者が原形を保った状態で食事できるようにミキサー購入の提案が出され、実践に繋がっております。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	社会福祉法人 敬養会のDD-CAPシートにて、各自が向上心を持って働けるように努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人外の研修には、職員が順次受講できるようにしています。また、事業内外で行われる勉強会に参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	管理者が中心となり、地域の同業者と交流する機会をもつように努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様より、ゆっくりと話を聞く機会を設けながら、ご本人様を受け止めるように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご契約時また面会時に時間をとり、不安なこと、ご家族が望んでおられることを聴く機会を作るようにしています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご本人様、ご家族様の要望を先ず聴き、必要に応じて他のサービス利用も含めた対応に努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員と利用者が一緒にゆったりと過ごす環境を作り、介護というよりも、寄り添う介護を目指しています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族の一員として、一緒に考え、悩み、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築くようにしています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご家族のご協力を得ながら、利用者様の生活習慣を聴き、今までの生活に近い環境を提供できるように努めています。ふるさと訪問としてご自宅へ外出支援を行い近所の方とふれあう機会を設けている。</p>	<p>入居時の聞き取りや家族の面会時、入居者との日常会話などからこれまでの関わり等を把握し、墓参りや一時帰宅、近隣へのドライブ同行、地域住民とのふれ合いなど、可能な限り支援されています。また、家族の面会に合わせて外出を計画し、家族のつながりが途切れないように支援されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士の関係を大切に行き、又個々の生活パターンを理解しながら、一つの生活として楽しく生活できるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用時に培われた関係を大切にしていきながら、相談・支援に応じるように努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の希望、意向の把握に努めながら、困難な場面には、ご家族の情報もえながら本人の視点に立ち、ケアをしていくように心がけています。	思いを直接伝えることが困難な入居者にも、日々の関わりの中で思いを汲み取るよう努めておられます。ホームでは、入居者の「自宅に帰りたい」という一言を受けて、家族の協力を得て自宅訪問するなど、できる限り本人主役の支援をめざしておられます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	安心して生活できる環境を提供していく為、これまでの生活パターンやサービス利用の経過などの把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者様お一人おひとりが出来ることをみつけて、機能維持に努めるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人様又、家族の方より話を伺いながら、それぞれの意見を反映した介護計画を作成するに心がけています。</p>	<p>月1回、モニタリングを実施し、家族に報告、同意を得ておられます。日々の言動や表情から思いの汲み取りに努めています。医師・看護師等、専門職の意見と家族の思いや意見を聞き、その人らしい暮らしを実現するための計画を作成されています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々のケアの実践などを個別記録に記入し、介護計画の見直しやモニタリング時に参考にしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人様また、ご家族の方の要望に応じて、柔軟に対応できるように心がけています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>月に一度のボランティアにより、音楽療法に取り組んでいます。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人様又、ご家族の方の希望を大切に、かかりつけ医に適切な医療を受けられるように努めています。</p>	<p>協力医療機関の他、希望するかかりつけ医への受診は、必要に応じて職員が家族と同行受診するなど、入居者、家族に安心を提供されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	看護職員による日々の健康管理を心がけています。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	ご家族のご協力の元、早期に退院出来る様に病院関係者との情報交換に努めるように心がけています。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	ご本人様又、ご家族の方の気持ちを尊重し、事業所として出きることを考え、かかりつけ医と相談しながら支援していくようにしています。	重度化した場合や終末期のあり方について、入居時に説明されています。状態変化がみられた場合は、ホームとしてできること、できないことを伝え、家族の希望に添って話し合いが行われています。また、家族の思いを職員が共有しながら、安心して生活できるよう取り組まれています。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	緊急時マニュアルに沿って対応できるように努めています。又、日々の業務の中で、看護職員から、緊急時の対応聞くようにしています。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	消防計画に沿って安全に避難できるように努めています。山間部に位置しているため、併設の事業所に応援体制を依頼しています。	想定される災害は、火災、地震、土砂災害です。年2回、法人全体で合同避難訓練を実施されています。災害時には、入居者の安全確保が図れるよう法人全体の協力体制が整えられています。	入居者の重度化に伴い、自力での避難が不可能な状況が予測されます。今後は、ホーム独自で災害時におけるシミュレーションや避難ルートの確認、災害予防チェックリストの作成を行うなど、入居者全員の避難を可能にするための対策に向けて検討されることを提案します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者一人ひとりのプライバシーを大切にしながら、記録などの個人情報も大切に扱うように心がけています。	研修計画を通して個人情報の取り扱いは慎重に行われています。援助が必要な時も、入居者一人ひとりの誇りを傷つけないよう、言葉がけにも配慮しながら丁寧な対応に努められています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自分で決められる事は決めていただき、難しいことなどは、ご家族に相談するようにしています。また、言葉だけでなく表情から得られる情報を大切にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースを大切にしながら、日々の生活を楽しみあるものにするように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人様の希望時には、ご家族様の協力を得ながら行きつけの美容院に行けるように努めています。又、美容院の方に来援していただいています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事が楽しい時間になるように、会話を楽しみながら又、食事の片付けなどのお手伝いをお願いしています。	食事はホームで手作りされています。季節の食材を利用して、キザミ食、トロミ食の工夫を交えて献立や器にも工夫しながら、入居者一人ひとりのペースに合わせ楽しく食事できるよう取り組まれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	利用者様一人ひとりに応じた食事形態をとり、水分摂取量などを記録して調整に努めています。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	毎食後、口腔ケアを実施しています。また、必要に応じて入れ歯の口臭予防に薬剤を使用しています。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	定時のトイレ誘導、また、本人の訴え時や表情などを視察してトイレ誘導に努めています。	定期的なトイレ誘導やしぐさ、様子から声かけし、一人ひとりに合わせた支援が行われています。入居者の重度化が進みトイレ誘導できる入居者が少ないため、オムツを利用する入居者が増えてきています。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	排便チェックを行い、また、便秘予防に努め、適切な運動を促すようにしています。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	利用者一人ひとり、ゆっくりと午後より入浴して頂ける様に配慮しています。また、リラックスして頂ける時間にするため、本人のペースを大切にしています。	週2回の入浴が基本ですが、希望あれば毎日入ることも可能です。入居者の体調管理や安全面に十分配慮しながら、シャワー浴、清拭、足浴や併設施設の機械浴の使用など、その日の状況に合わせて無理のない支援をされています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりの睡眠パターンを把握していくようにしています。また、安心して睡眠できる環境を提供できるように努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員一人ひとりが、薬の目的や副作用など理解して、利用者様の状態変化の確認に努めるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ご本人様の出来ることを引き出し、役割を持っていただくように支援しています。(洗濯・トレイを拭いていただく事など)		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご本人様の希望時には屋外に出られるようにしています。	重度化が進み、入居者の行動範囲が限られてきていますが、車椅子で玄関先に出て外の空気にふれるなど、できるだけ戸外に出かけるよう支援されています。また、家族の協力を得ながら入居者の希望を実現できるよう支援されています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金を持つことにより、利用者様が安心される場合には、小額をご本人管理にしています。		
		○電話や手紙の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話口に出ただけコミュニケーションを支援しています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用の空間には、季節の花などを飾ったり、食事作り、おやつ作りの写真を飾って、心が和むような雰囲気を作るようにしています。	玄関ホールに、入居者の手作りの作品や生け花が飾られています。リビングや廊下はゆったりとしたスペースで明るく、入居者にとって不快に感じる音や臭いもなく気持ち良く寛げる環境を整えておられます。また、入居者と職員が囲んで食事をする大きなテーブルは、共通の話題で和気藹々と過ごす場となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共用の空間には、畳のコーナーがあり、昼寝をされたり、テレビを観たり出来るようにしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室にはご家族の写真などがあり、思い出を大切に環境を心がけています。	居室には、入居者が自宅で使用していた馴染みの家具が持ち込まれている他、壁には家族写真を飾るなど、住み慣れた生活と切り離されることなく安心して暮らせるよう工夫されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレの場所など、利用者様の目線に合わせて標識を作っています。また、職員が手を出し過ぎず、目を離さずに危険がないように支援しています。		

V アウトカム項目(1ユニット)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム さつき

作成日 平成 27 年 1 月 2 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	入居者の重度化に伴い、自力での避難が不可能な状況が予測される。	ホーム独自で災害時におけるシミュレーションや避難ルートの確認、災害予防チェックリストの作成を行う。	災害予防チェックリストでは、コンセンートの確認手入れのリストを作成。	6か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。